



長年にわたり郷土の文芸活動発展に尽くす藤田さん

# 釧新郷土芸術賞に輝く

## 受賞者の横顔

3—③

年余り地元新聞社で記者として働く傍ら、社内の若い人たちと文芸グループをつくって活動した。19

65年には同僚記者と三人詩集「港にいた」を刊行している。

### 詩を書く喜びを

## 道詩人協会賞受賞

第1詩集「ゼリービーンズ岬の鳥たち」(1991年、緑鯨社)で第29回北海道詩人協会賞、第16回釧路文学賞を受賞した。98年に詩集「蝉の夢の上澄みを踏んで」(緑鯨社)、2003年に共著エッセイ集「つ

れづれ草」(釧路新聞社)を刊行した。「本を読んだり文章を書

いたりするのが、小さい時から好きだった」と言い、江南高校では文芸部に入部し、本格的に詩を書くようになった。高校卒業後、5

「郷土の皆さんに育てられたので、受賞はすごくうれしい」と感謝し、「将来を担う人たちに詩を書く喜びを話していける活動をしていきたい」と話している。

# 文芸活動の発展に尽くす

現在、釧路文学団体協議会副会長、釧路市文化賞審議委員、釧路市文化芸術振興基本条例策定委員などを務めている。釧路市生まれ。

いる。

3年に共著エッセイ集「つれづれ草」(釧路新聞社)を刊行した。「本を読んだり文章を書いたりするのが、小さい時から好きだった」と言い、江南高校では文芸部に入部し、本格的に詩を書くようになった。高校卒業後、5

現在、釧路文学団体協議会副会長、釧路市文化賞審議委員、釧路市文化芸術振興基本条例策定委員などを務めている。釧路市生まれ。

いる。

いる。

藤田 民子さん(69)

(釧路市)

詩